

長野県プロフェッショナル人材戦略拠点

NEWS LETTER No.4

山の木々が茶色に変わり、冬がすぐそこに感じられるようになってきました。今回は、JETRO(日本貿易振興機構)長野貿易情報センター奥村所長様より、JETROのグローバル人材の活用に向けた取り組み及び金融機関からのメッセージ及び人材採用のポイントをニュースレターとしてお届けいたします。

【高度外国人材の活用について】

JETRO(日本貿易振興機構)

長野貿易情報センター 所長 奥村 明子

グローバル化が進む県内企業にとって、海外市場開拓や海外拠点のマネジメントや技術指導を担う人材の確保・育成が大きな課題となっています。ジェトロでは、日本にきている留学生など高度外国人材の活用に向けた支援を行っています。

【ジェトロによるグローバル人材の採用、育成、定着に係る支援】

1. 専門家によるセミナー・ワークショップ・個別相談の開催

10月4日(木)長野市で「外国人材採用セミナー」を開催しました。セミナーでは、行政書士の林辰幸氏より在留資格について説明するとともに、ジェトロの新輸出大国コンソーシアムエキスパート(高度外国人材の活用)の海老博子による、高度外国人材の採用についてワークショップと個別相談会を開催しました。

ワークショップでは説明を聞きながら、外国人を採用するメリット・効果的なPR方法などについて事例紹介や課題の洗い出しを行いました。

<海外エキスパートによる説明概要>

- (1) 高度外国人材における現状：現在約27万人いる国内留学生のうち、日本での就職者は約3割にとどまっている一方で、企業のグローバル人材は不足しています。
- (2) 募集・採用方法：①フェイスブック、自社WEBサイト等にて、コストはかけずに手間をかける直接募集する方法、②留学生を対象としたジョブフェアイベントへの参加、③インターンシップ受け入れなどがあります。
- (3) 採用時の注意点：①雇用条件や処遇を明確化する必要があります。特に、日本で採用・研修→現地勤務の場合は最初に条件をつめておかないとトラブルになる可能性があります。②在留資格を確認し、採用が決まった時点で変更許可申請の手続きを開始します。③面接時に避けた方がよい質問には家族構成、国籍、宗教などがあります。
- (4) 採用・定着に向けてのポイント：①ビジネスマナーや職場のルールなど「暗黙の了解」は通用しません。自分の「常識」は必ずしも外国人社員の「常識」と同じではないので、明確に言葉や文章で伝える必要があります。②外国人社員が疎外感を感じないように、「特別待遇」ではなく、「特別対応」をして、組織内のコミュニケーションを良くし、社内全体で受け入れ体制を作ることが重要です。

2. 外国人留学生と長野県企業の交流会(ナガノジョブフェア)

- ・日時：2018年10月27日(土) 13:00~15:30
- ・会場：長野市ビッグハット 産業フェアin信州会場内
- ・参加企業数：15社
- ・対象者：長野県内の大学、高専、専門学校に通う外国人留学生およびALT
- ・目的：外国人留学生に県内企業を知ってもらい、将来的にグローバル展開を担う人材となっただけのためイベントを開催しました。

3. 国際化促進インターンシップ事業(2018年度の応募は終了しました)

開発途上国(OECD/DACリスト掲載国)の国籍を有する若手外国人材220名を海外から受け入れ、日本国内約220社・団体等で約3か月間インターンシップを受けていただいています。2018年度は長野県の6社が7名のインターン生を受け入れております。

<外国人インターン生を受け入れるメリット・効果>

- ・海外ビジネスの拡大や新たな展開に向けた知見構築
- ・外国人と働くことや異文化コミュニケーション経験による意識改革
- ・外国人採用に向けた海外大学等とのネットワーク構築や社内の体制整備

◆高度外国人材の活用について、ご関心のある方は、ジェトロ長野までお問合せください。

お問い合わせ先：日本貿易振興機構(ジェトロ)長野貿易情報センター

TEL 026-227-6080 E-mail: ngn@jetro.go.jp

◆グローバル人材活用支援メールマガジン(不定期:年10回程度)◆

ご登録はこちらから

<https://www.jetro.go.jp/mail/list/dd442902af4579a1.html>

金融機関からのメッセージ

諏訪信用金庫 融資部企業支援課 リューションアテンダント
佐久 菜々美

諏訪信用金庫は“地域とともに、地域のために”の信念のもと「豊かな地域社会の実現」を経営理念に掲げ、地域で最も信頼される金融機関を目指しています。

こうした中、地域の産業・経済の発展のため「地域企業の経営サポート」に積極的に取り組んでいます。“Face to Face”によるコミュニケーションを通じ、お客様が抱える経営課題を正確に把握するとともに、課題解決にむけた的確なアドバイスや適切なソリューションをご提供することで、お客様の更なる発展・成長に貢献したいと考えています。最近では、人手不足による「人材確保」、後継者不在による「事業承継」など、「人」に関するご相談が増えています。こうした課題についてはプロフェッショナル人材戦略拠点との連携サポートをはじめ、当金庫が有する外部機関とのネットワークも活用しながら支援ニーズにお応えしていく態勢を整えていますのでお気軽にご相談ください。

人材採用におけるポイント



芹澤 廣
シードジャパン株式会社
代表取締役

「視点を変えると、中小企業様にとっての「人材確保の解」はここに」

プロフェッショナル“人材”を確保したいと考える企業様はあまたあります。

しかしプロフェッショナル人材を自社にとっての“人材”として採用し育てられる中小企業という、どのくらいあるのでしょうか。

信州という地を選んでUIJターンされて来られる人達にとっての“人生の転機”にどれ程の想像力を働かせて、移住者の方々と出会う機会に臨んでいますか。

そうした方々と企業の一員として共創する関係を構築していこうとする企業様に迎えられた人達の活躍の姿を見たりお話を聴くと、企業のトップや採用を任されている幹部の方々の勇気ある英断が、事の始まる起点になっていると強く感じます。

“人生の転機”を主体的に乗り切ろうと考えるプロフェッショナル人材の方々は、担う立場を企業様より与えられた時、方々が“各企業様の人財”へ成長していく可能性は無限大だと思います。

飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課
林 健一郎

飯田信用金庫では、法人・個人事業主のお客さまの経営課題や経営支援のご相談窓口を、地域サポート部内の「企業経営サポート課」に一本化し、外部の専門機関と連携しながら、お客様の経営課題解決のご支援に取り組んでおります。

県内の有効求人倍率が高水準で推移する中、当金庫にもお客様から「人材確保・採用難」についてのご相談が多く寄せられるようになっており、プロフェッショナル人材戦略拠点と連携してご支援する機会が増加しています。同拠点への相談は、ご相談企業にとって、自社の人材確保における問題点の洗い出しや、求める人材ニーズの明確化に繋がると考えております。現在のように人材確保が非常に難しい状況下では、これらの点を明確にした上で、自社が求職者に選ばれるようにしっかりとアピールすることがより重要になるのではないのでしょうか。

当金庫では、同拠点と連携しながら課題解決に必要な人材とのマッチングをサポートして参りますので、お気軽にご相談ください。

鈴木 優一
株式会社メイツ長野 営業部 次長

メイツ長野は長野県内を中心とした人材派遣業を営んでおります。

地元ならではの強みもあるとはいえ、現在参加させていただいている「プロフェッショナル人材拠点」のプログラムになかなか協力できていないのが現状です。

派遣業に特化している弊社では、ワークライフバランスを基本に仕事も子育てもしばらく仕事を離れていたのでは派遣でというニーズにも応えられていると自負しています。

人手不足が叫ばれていますが、クライアントの望む人材とのマッチングは困難な状況です。

「人を見極める」ことは永遠の課題であろうと思います。“高学歴・一流企業”という方もいれば、派遣や契約を繰り返しなかなか正社員への道が見えてこないというような方々等様々な人材が登録にみえます。これまでの経歴イコールこれからの人材ではない場合もあります。人材ビジネスに答えはありませんが、人そのものを見極めるのは経験がものをいいます。